



令和4年度 第4回国有林材 供給調整検討委員会を開催

3月14日に、本年度第4回目
の「国有林材供給調整検討委員
会」を開きました。

それぞれの専門分野からの意
見を述べあい、「現時点での供
給調整は必要ないが、原木の出
材や価格の動向、工場等の原木
仕入れ状況、木材製品の出
荷や価格、輸入材の動向な
どを注視しつつ需給バラン
スを見極めながら、計画的
な供給に努めるべきである」
との検討結果となりました。

各委員からの主な意見は
次のとおりです。

【主な意見】

○合板の生産量は昨年の上
半期の平均生産量からする
と約3割近くの生産調整を
全国で行っており、出荷数
量も3割の減少となってい
る。

出荷量に合わせて生産し
ているが、予想以上に出荷

が少なく在庫が溜まってきてい
る状況であり、どの合板工場も
今後もまだ生産調整を行ってい
くと思う。

原木の供給については、私た
ちの手元に入る原木をみるとA
材あたりは価格維持されている

し、燃料用が足りないと言わ
れているが、現在は過不足な
く使っているため現状維持
をお願いしたい。

○製紙関係では古紙の発生が減
少したということで、紙の生産
は落ちているがチップの使用が
増えているというこ
ころ。

原料や燃料チップ
を取り巻く環境では
引き続き逼迫状態が
継続しており、製紙
原料についても燃料
同様奪い合いの状況
になっている。

発電関係でも燃料
不足による稼働停止
や、小規模の発電施
設では採算的に非常
に厳しい状況になっ
てきており、量が必
要なので引き続きC・
D材の安定供給及び



供給調整検討委員会の状況



挨拶される矢野局長

○国産材は安定供給ができない
と言われてきたが、毎月一定量
供給することが安定供給である
と勘違いしているところがあり、
やはりそこは需要に合わせた供
給をどうできるかというところが
本当の意味での安定供給であ
ると思われる。

またウッドショックで少し伸
びた非住宅とか公共物件等が地
方でもようやく動き始めており、
その普及次第で稼働率も上がる
ものと期待している。

国有林材供給状況については、
今回ちょうど年度末でもあるの
で来年度も通常の年度と同じよ
うな形で進めていただければと
思っている。



検討される委員の方々

○製品の売れ行きは非常に悪い状況で、単価も輸入材や集材材柱に引つ張られて厳しくなってきたおり、宮崎県内の原木価格も今月に入って急激に落ち込んでいる。

輸入材に関しては、電気代・人件費の高騰、原木に関してもかなり不足しているようでもが底値ではないか。

木材価格は落ち着いたものの建材の価格は依然として上がり続けているため坪数を減らしたり40年ローンを組んだり無理な住宅購入をしている若い世代が多いようだ。

荷動きの方は悪いが、ここでまた原木を極端に絞ってしまつと足りなくなる恐れもあり、燃料も足りないということなので供給については現状維持でお願いしたい。

○需要については、予定していた量や価格に満たない消極的な取引が昨年の秋から続いており、今年に入って更にその傾向が強くなったと感じている。

バイオマス需要が拡大している中でC・D材が足りない

ということだが、きちんとした森林経営計画に基づいた森林整備による取り組みでの出材が必要じゃないかと考えている。

また、最近特に関心を集めているSDGSにおいても森林整備を促進するという立場の中で森林・木材の価値を高めるための努力を積極的に進めて行きたい。

供給調整の面では全体的には必要なく現状維持でお願いしたい。

○森林環境に関連する部分についての国民の意識、国際的な流れからすればその要請は非常に幅広いものになってきていると途中で木材産業・森林木材産業以外の他のいろんな業種の人たちが多面的な意見を我々に問いかけてくるようになった。

いずれにしても国内の素材流通の変化に取り残されないように敏感に対応していかなければいけないと感じている。

国有林の供給のバランスについては従来どおりということでお願したい。

○年明けから原木市場では出荷が増えてきており非常にあり

がたいことだが、皆伐が増えてきている中で、再造林がされずに放置されている現場も非常に多く目に見えているところであり危惧している。

民有林においても皆伐と再造林をセットにする取組を推進していかなければならないと考えている。

国有林材の供給調整については今後もバランスのとれた供給をお願いしたいと思っている。

○米松KDと米松集成材が3月頭から1万円の値下げ。柱では杉KDよりも杉集成材の方が安いという逆転現象が起きている。

各プレカット工場等の報告を受けていると見積もりに関してかなり低調で1月は10〜20%の減で2月も少しずつ悪くなつており20〜30%減という工場が多いようだ。

木造住宅はしばらく無かったような低調な受注状況の中で、プレカット工場間で価格競争が激化している。

国有林の供給調整について、木造住宅の低調は続くと思われるが、競合木材の価格は下げ基調であり、国産材のシェアが奪

われかねないということもあり現状維持をお願いしたいが、B・C材の状況を考えると少し多めの供給でも良いというふうにも考えている。

※本検討委員会の詳細は、九州森林管理局HPのキーワードの木材の供給情報の「九州森林管理局国有林材供給調整検討委員会の検討結果等について」からご覧になれます。

(担当：地域木材情報分析官)

**危険木特殊伐
採作業を実施
しました**

【屋久島森林管理署】

屋久島森林管理署では、本格的な観光シーズンを迎える前に、町道淀川線(併用林道)沿いにある危険木の伐倒処理を行いました。

今回処理したモミの危険木は、道路を挟んで紀元スギと並んで立っており、道路側に大きく傾

いていました。このため、後方から2本のケーブルで引っ張っていましたが、耐用年数も近かったことから、通行者の安全を図るために伐倒処理することとなりました。



特殊伐採作業の状況



道路側に傾いたモミの危険木

この危険木は、国立公園内にあることや、樹木の形状や大きさから、クレーン等を使用しての特別な技術を使って行いました。

作業期間中は天候もよく、他の危険木も含めて予定どおり終了することができました。

これで観光客や登山者の皆様方には、安心して紀元スギを見学していただける環境が整いました。

有害鳥獣捕獲等に係る現地検討会を実施

【熊本森林管理署】

3月10日、当署管内の山都町北中島ラダラ国有林において、熊本県及び当署とシカ被害対策協定を結んでいる関係市町村と関係猟友会支部、菊池市・大津町地域森林整備推進協定の関係機関等、総勢32名出席の下で有害鳥獣捕獲等に係る現地検討会

を開催しました。

開会にあたり、井上智晴署長から、「多様な森林整備を積極的に推進する一方で、各地で深刻化する野生シカ等による森林被害は、森林施業の低コスト化を拒む要因となっており、この現地検討会が鳥獣の捕獲技術の向上に向けた皆様方の参考になることを祈念申し上げます」と挨拶がありました。

続いて、南阿蘇森林事務所の塚本順一首席森林官による現地概要説明の後、九州森林管理局保全課の担当官より、昨今における九州森林管理局管内の森林



職員による現地説明



小林式捕獲法の設置方法を実演

被害の現状とシカ被害対策に係る取組状況等の紹介や、笠松式くくり罠を用いた小林式捕獲法の設置方法について実演が行われました。

参加者達は、罠による捕獲の仕組みについて初めて体験する者から、永年に亘り罠捕獲を行っている経験者まで様々でしたが、6班に振り分けられた各グループ毎に実施した当該捕獲法に係る演習では、要所所でメモを取る場面やベテラン者からは効果的と思われる給餌方法等について情報提供がなされるなど、有意義な意見交換の場となりました。

民有林関係者への講演会を開催

【西都児湯森林管理署】

3月6日、「山地災害発生時における九州森林管理局の取組について」と題し、富永雄二署長による講演を西都市役所や児湯広域森林組合職員ら総勢33名を対象に開催しました。

この講演は、2月15日に開催



講演会に参加された皆さん



講演される富永署長

した長友幹雄代表理事組合長の講演に続くもので、2回目の森林組合職員等との情報交換として開催したものです（本誌3月号に掲載）。

冒頭、森林管理署の組織構成や令和4年度九州森林管理局の重点課題の取り組み、森林の有する機能などについて説明があり、続いて、平成28年熊本地震や平成29年九州北部豪雨の被害概要、国による自治体支援や災害復旧等について、写真やデータをを用いて詳しく説明がありました。

講演終了後、参加者から「大規模災害が発生した際の心構えや大変さ」など多くの質問や意

見があり、「是非、治山施設と施工現場を見せていただきたい」といった意見も寄せられるなど、充実した講演会になりました。今後、地域林業の再起・発展のため、様々な取り組みを行うこととしています。

工場見学で 職員の知見 向上に

【熊本南部森林管理署】

2月16日、OJTの一環として若手職員2名に加え、赤星良治署長の他、資源活用担当者2名が参加し、熊本県八代市に所在する日本製紙株式会社八代工場及び株式会社南栄の工場見学を行いました。

冒頭、日本製紙株式会社八代工場で生産している新聞用紙や印刷用紙、また、株式会社南栄で行っている木材の流通や加工風景等、会社概要について説明を受けました。

日本製紙株式会社八代工場は、



日本製紙八代工場内の状況

九州のほぼ中央に位置し球磨川の水とともに九州唯一の工場として、新聞用紙、印刷用紙、情報用紙など多種多様の紙をバルブから一貫生産しており、世界トップレベルの新聞用紙専抄マシン「N2マシン」をはじめ、4台の抄紙機が1日700tもの用紙を生産し、多くのユーザーニーズにえています。

また、八代工場では、九州地区の新聞用紙の約60%を生産しており、燃料に間伐材等の未利用材を100%使用していることから、森林・林業への再生をはじめ、持続可能な社会の構築に貢献しているとのことでした。株式会社南栄では、熊本県内



南栄木材で説明を受ける若手職員

に13の工場及び営業所を設置し、大きく「山林事業」・「チップ製造事業」に分かれて原木の伐出、製紙工場向けチップの生産やバイオマス燃料の製造、木質系産業廃棄物の処理といった木材にまつわる幅広い事業を展開しているとのことでした。

施設内の見学では、実際に木材チップを製造し、チップ工場へ運搬している風景や、樹皮（パーク）を専用機械で粉碎し畜産に使用する敷料を生産している作業を見学することができました。

今回の見学を通して、国有林野事業の中で多くの木材が利用される中で、建築や電気（バイ

宇城市県道58号 宇土不知火線沿線 のクリーン活動を 実施

【熊本森林管理署】

3月8日、当署管内の萩迫国有林において、一般社団法人九州林業土木協会及び九州国有林

オマス発電）、紙等といった私たちの私生活に必要な不可欠な存在として生まれ変わっていく様々な姿を見ることができ、大変有意義な見学となりました。



ゴミの回収作業

林業生産協会及び宇城市、宇城保健所の協力を得て、当署職員を合わせた総勢53人でクリーン活動を実施し、不法投棄されたゴミを回収しました。

開会式では井上智晴署長から「国有林内への不法投棄は回収しても再び投棄されるといった『いちごっこ』の状況にありますが、啓蒙普及と回収を繰り返しながら、地道にクリーン活動を進めなければなりません」との挨拶の後、高瀬智晶総括森林整備官より作業の実施要領、留意事項等について説明しました。



回収したゴミの積み込み作業

輝生矢部内大臣地域統括森林官等が事前準備を綿密に実施した結果、スムーズに県道58号線沿いに投棄されたゴミを回収・分別出来ましたが、当初の想定を上回るタイヤ、家庭ゴミ、家電などが投棄されており、急斜面で足場の悪く中を苦労しながら全体で4トンドンプ1台、軽トラック3台分のゴミを回収・分別して、処理施設へ搬入することが出来ました。

当署管内においては、処理費用の負担を消費者に義務付けた平成13年の家電リサイクル法の



クリーン活動に参加された皆さん

施行以降は不法投棄が増加傾向にあります。引き続き関係機関との連携・協力を強化して国有林内のクリーン活動に努めていく考えです。



☆3月31日退職

寺地 祐人【熊本南部署】

緒方 琴音【国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター九州育種場連絡調整課】

☆3月31日異動（退職）
国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター九州育種場遺伝資源管理課収集管理係長

猪島 真由美【森林整備課】
国立研究開発法人森林研究・整備機構森林保険センター保険業務部保険業務課

坂田 晃一【森林整備部】
長崎県農林部林政課主任技師

中村 凌【北薩署】
熊本県農林水産部森林局森林整備課長

熊本 真由美【森林整備課】
国立研究開発法人森林研究・整備機構森林保険センター保険業務部保険業務課

宮脇 慈【林野庁林政部企画課課長補佐】

☆4月1日付異動

業務管理官

梅木 洋一【近畿中国局滋賀署長】

地域木材情報分析官

永野 徹【林野庁林政部経営課課長補佐（労働安全衛生班担当）】

島田 喜代司【四国局徳島署長】

総務企画部長

池田 秀明【林野庁林政部経営課課長補佐（経営対策室長）】

計画保全部長

福岡森林管理署長

井上 康之【関東局群馬署長】

佐賀森林管理署長

猪島 明久【地域木材情報分析官】

長崎森林管理署長

黒木 興太郎【屋久島署長】

熊本南部森林管理署長

高木 周一【資源活用課長】

鹿兒島森林管理署長

香月 英伸【東北局計画保全部長】

屋久島森林管理署長

森本 茂【近畿中国局森林整備部森林整備課長】

企画調整課長

相村 英範【企画調整課長補佐】

經理課長

篠村 和希【総務企画部専門官（契約適正化担当）】

計画課長

魚住 悠哉【林野庁森林整備部森林利用課課長補佐（森林吸収源推進班担当）】

松永 眞弥【計画保全部企画官（財産管理担当）】

資源活用課長

廣田 忠善【保全課長】

桑原 英隆【森林整備部企画官（木材需給対策担当）】

総務企画部企画調整課監査官

下崎 哲也【総務企画部専門官（債権管理担当）】

総務企画部専門官（債権管理担当）

井野 常雄【森林整備部企画官（技術開発・普及担当）】

総務企画部総務課企画官（安全衛生担当）

杉野 隆二【総務企画部企画

課長

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

課長補佐

調整課監査官

計画保全部企画官（財産管理担当）

久保 幸治【総務企画部総務課企画官（安全衛生担当）】

森林整備部企画官（木材需給対策担当）

森本 明【大分西部署次長】

高木 勝一【大分署次長】

森林整備部企画官（技術開発普及担当）

佐藤 省治【北海道局総務企画官

【 画部専門官（契約適正化担当）】

森林整備部企画官（自然再生担当）・計画保全部保全課付

坂之上 勘太【森林整備部企画官（長期安定供給担当）】

森林整備部企画官（長期安定供給担当）

中川 勝博【国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所企画部育種企画課長】

計画保全部流域管理指導官

河邊 喬【計画課長】

計画保全部治山課災害対策専門官

片山 雅明【計画保全部治山課災害対策専門官・苫北治山事業所駐在】

福岡森林管理署次長

渡邊 健一郎【宮崎署次長】

熊本南部森林管理署次長

井 勝吉【治山課課長補佐】

大分西部森林管理署次長

古澤 竜喜【福岡署次長】

大分森林管理署次長

転任挨拶 お世話になりました



前 業務管理官 川戸 英騎

4月1日付けで、三重森林管理署へ異動となりました。令和3年4月に赴任してからの2年

間、地域の皆様、事業者の皆様、そして職員の方々に大変お世話になりました。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

この2年の間に、九州各県への訪問と意見交換、市町村に対する技術支援、林業のイノベーションに取り組む林業経営体への支援、初めての樹木採取権の設定、屋久島精英樹地スギ苗の生産体制確立、シカ対策など、

九州森林管理局が行っているさまざまな仕事に皆様とともに携わることができ、とても幸せでした。これから先、多発する自然災害や世界的な木材需給の動向などを背景に、これまで守り育ててきた森林の機能を最大限に発揮しながら、より素晴らしい森林を次世代へ継承していくことがますます重要になるはずですので。九州森林管理局の先導的な活躍をこれからも応援して参ります。皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

情報指導官

北薩森林管理署次長

石原 健司郎【計画保全部流域管理指導官】

近畿中国森林管理局三重森林管理署長

川戸 英騎【業務管理官】

林野庁国有林野部管理課福利厚生室長

岩井 広樹【総務企画部長】

東北森林管理局計画保全部長

山根 則彦【計画保全部長】

北海道森林管理局石狩森林管理署長

佐藤 肇【福岡署長】

中部森林管理局総務企画部長

白石 健二【佐賀署長】

近畿中国森林管理局島根森林管理署長

高木 敏【長崎署長】

林野庁森林整備部研究指導課課長補佐（技術開発班担当）

一重 喬一郎【企画調整課長】

林野庁国有林野部管理課共済組合業務班管理係長

班庶務係

森 晴可【屋久島森林生態系保全センター】

林野庁国有林野部管理課（総務班庶務係）

春田 魁登【西表森林生態系保全センター】

林野庁森林整備部整備課（造林事業班再造林技術推進係）

溝口 英聖【北薩署】

林野庁森林技術総合研修所総務課

中川 隆之【宮崎署都城支署】

北海道森林管理局森林整備部

後藤 青葉【大分署】

北海道森林管理局宗谷森林管理署森林官（利尻担当区）

坂本 淳也【大隅署】

東北森林管理局岩手南部森林管理署森林整備官（経営・資源活用担当）

永井 純一【西都児湯署】

他省庁へ出向（内閣府沖縄総合事務局）

川口 理【企画調整課】

他省庁へ出向（環境省九州地方環境事務所）

梅木 剛【大分署】

◆ 転任挨拶 ◆ お世話になりました



前 計画保全部長
山根 則彦

令和3年度から2年間、計画保全部長を務めさせていただきました。初めての九州勤務でしたが、局署の皆様のご尽力ご支援により公私とも充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

に係る取組、佐賀での災害対応、会計検査の立会、西表センターの議論などが特に印象に残っており、それぞれの場面では局署の皆様にご尽力をいただきました。

仕事外では局野球部に入れていただき、20年ぶりにグローブをはめて週1回の練習や局長杯に参加できました。練習時のノックはかなり楽しかったです。また、バドミントンも30年ぶりにラケットを握って楽しくダブルスができました。一緒に活動してくださった局署等の皆様ありがとうございました。

明るく働きやすい九州局が今後益々発展することを祈念しまして転任の挨拶いたします。

柿本 一宏【屋久島署】 経営担当）
 森林技術・支援センター
 川畑 地歩【西都児湯署】
 福岡署事務管理官（管理担当）
 田畑 駿也【計画保全部】
 福岡署森林整備官（森林育成・

福岡署森林官（新宮担当区）
 栗林 潤一【大分署】
 福岡署地域統括森林官（直方、中谷担当区）
 宮田 耕作【鹿児島署】
 佐賀署総括事務管理官
 山口 昌幸【長崎署】
 佐賀署森林土木指導官
 峯 良彦【大分署】
 佐賀署森林官（唐津担当区）
 菅 和光【佐賀署】
 佐賀署森林官（鹿島担当区）
 小野 稔和【福岡署】
 長崎署森林技術指導官
 中島 龍太【佐賀署】
 長崎署総括事務管理官
 平田 和之【大分署】
 長崎署主任事務管理官（総務担当）
 城下 ヒトミ【長崎署】
 長崎署事務管理官（管理担当）
 清田 泰志【宮崎南部署】
 長崎署森林整備官（森林育成担当）
 前田 聖人【熊本南部署】
 長崎署森林整備官（経営・土木担当）
 真野 康彦【長崎署】
 長崎署森林土木指導官
 吉田 幸一【長崎署】

長崎署森林情報管理官
 井上 祐二郎【福岡署】
 長崎署治山技術官
 志村 結実【長崎署】
 長崎署治山技術官（眉山治山事業所）
 宮崎 海【治山課（鳥栖治山事業所）】
 長崎署首席森林官（島原、西郷担当区）
 歌野 博幸【北薩署】
 熊本署森林整備官（森林育成担当）
 塩崎 暢彦【北薩署】
 熊本署森林土木指導官
 田上 誠【熊本署】
 熊本署森林官（熊本担当区）
 古村 理恵子【熊本署】
 熊本南部署主任森林整備官（経営担当）
 木村 真【北薩署】
 熊本南部署主任森林整備官（経営・資源活用担当）
 後藤 貴裕【熊本南部署】
 熊本南部署森林整備官（森林育成・森林ふれあい担当）
 山口 聖【宮崎署】
 熊本南部署森林情報管理官
 沖田 正志【熊本南部署】
 熊本南部署総括治山技術官

三浦 健司【治山課】
 熊本南部署首席森林官（錦担当区）
 村木 信一郎【宮崎署都城支署】
 大分西部署総括事務管理官
 浅尾 純治【福岡署】
 大分西部署野生鳥獣対策官
 廣田 俊之【沖縄署】
 大分西部署総括森林整備官
 福山 健一【国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター九州育種場遺伝資源管理課】
 大分西部署森林情報管理官
 伊藤 明雄【大分西部署】
 大分西部署治山技術官
 西田 卓矢【大分西部署】
 大分西部署
 中村 麻己佳【総務企画部】
 大分西部署森林官（山国担当区）
 小野 千華【大分西部署】
 大分署総括事務管理官
 鈴木 誠【長崎署】
 大分署主任事務管理官（総務担当）
 志田 明子【宮崎北部署】
 大分署事務管理官（経理担当）
 下村 龍也【屋久島署】
 大分署主任森林整備官（経営担

当)

河野 輝文【四国局愛媛署】

大分署主任森林整備官(森林育成・資源活用担当)

後藤 直哉【西表森林生態系保全センター】

大分署総括治山技術官

藏原 剛【森林整備課】

大分署地域技術官

山形 良平【森林技術・支援センター】

大分署

田村 舞【宮崎南部署】

大分署

中村 帝【長崎署】

大分署首席森林官(青山、山口担当区)

石田 義幸【長崎署】

宮崎北部署森林技術指導官

山川 祐一【宮崎署】

宮崎北部署主任事務管理官(総務担当)

原口 隼人【宮崎北部署】

宮崎北部署事務管理官(管理担当)

後藤 小菜美【北薩署】

宮崎北部署森林整備官(土木・経営担当)

丸岡 仁人【宮崎北部署】

宮崎北部署総括治山技術官

石本 敏隆【宮崎署都城支署】

宮崎北部署地域技術官

鎗水 秀虎【宮崎北部署】

宮崎北部署地域統括森林官(高千穂担当区)

岩本 浩三【大分署】

西都児湯署森林技術指導官

市原 広一郎【熊本県五木村産業振興課】

西都児湯署森林情報管理官

鶴山 喜之【大隅署】

西都児湯署総括治山技術官

和田 治仁【治山課】

西都児湯署

石川 大智【福岡署】

西都児湯署

岩井 颯汰【宮崎南部署】

西都児湯署首席森林官(三財、九流水担当区)

竹下 清高【宮崎南部署】

西都児湯署首席森林官(木城、石河内担当区)

東 敬介【大隅署】

宮崎署森林技術指導官

宮本 和久【屋久島森林生態系保全センター】

宮崎署総括森林整備官

後藤 善史【資源活用課】

宮崎署主任森林整備官(資源活用担当)

柿田 憲司【宮崎北部署】

宮崎署森林整備官(森林育成担当)

岩崎 貴子【宮崎署都城支署】

宮崎署森林情報管理官

米丸 栄輝【大隅署】

宮崎署

横山 修斗【総務企画部】

宮崎署首席森林官(紙屋、野尻担当区)

吉岡 直人【熊本南部署】

宮崎署(綾森林事務所)

増田 千恵【計画保全部】

宮崎署都城支署森林技術指導官

犬童 伸博【宮崎署都城支署】

宮崎署都城支署総括事務管理官

宮川 茂則【森林整備課】

宮崎署都城支署総括森林整備官

白坂 進【大分西部署】

宮崎署都城支署主任森林整備官(土木担当)

橋口 逸成【宮崎南部署】

宮崎署都城支署森林整備官(経営担当)

柿田 さおり【大分署】

宮崎署都城支署総括治山技術官

山部 勝範【鹿児島署】

宮崎署都城支署地域技術官

久木野 祐史【佐賀署】

宮崎署都城支署

一山 結以【鹿児島署】

宮崎署都城支署

斎藤 哲哉【四国局嶺北署】

宮崎署都城支署森林官(四家担当区)

濱本 敬士【宮崎署】

宮崎署都城支署地域技術官(高城森林事務所)

吉田 航【宮崎南部署】

宮崎署都城支署地域統括森林官(北小林、西小林担当区)

淀水 義文【西都児湯署】

宮崎署都城支署(西小林森林事務所)

矢部 岳広【鹿児島署】

宮崎署都城支署首席森林官(白鳥、真幸担当区)

小谷 豊【熊本南部署】

宮崎署都城支署首席森林官(えびの、飯野担当区)

中村 正任【宮崎署】

宮崎南部署主任事務管理官(総務担当)

塩谷 幸子【西都児湯署】

宮崎南部署総括森林整備官

谷口 慎吾【宮崎署】



新規採用者紹介

岡田 朋子(総務課安全衛生係長)

松村 恭佳(総務課)

前畑 奈央(企画調整課)

永島 海翔(経理課)

矢野 好美(福岡署)

細川 昌泰(佐賀署)

知念 綾乃(長崎署事務管理官)

東 龍聖(長崎署)

横田 貴彦(熊本署事務管理官)

村岡 健斗(熊本署)

一川 優奈(熊本署)

電永 遙己(熊本南署)

山崎 陸人(大分署)

小園 里(宮崎北部署事務管理官)

田邊 智行(西都児湯署)

兼城 華鈴(宮崎署)

吉原 遥斗(宮崎署都城支署)

梅見 弘太郎(宮崎南部署)

中村 柁(北薩署)

和智 愛加里(鹿児島署)

濱田 大地(大隅署)

黒安 耕佑(屋久島署)

安楽さんの
樹木よもやま話

2-1
【アケビ類】
一番おいしいのは？
アケビ



昔は山で遊ぶ子供たちの格好のおやつでした。山で熟すのを待ちきれずに、半熟のアケビを持ち帰り、甘さを想像しながら糠（米ぬか）に埋めて熟すのを待った思い出があります。

昔は山で遊ぶ子供たちの格好のおやつでした。山で熟すのを待ちきれずに、半熟のアケビを持ち帰り、甘さを想像しながら糠（米ぬか）に埋めて熟すのを待った思い出があります。



森林インストラクター
安楽 行雄



森林インストラクターになってからは、アケビの「ア」の発音は口を開ける、ムベの「ム」の発音は口を結ぶので、縦裂するのがアケビと説明しています。

花を観察して、3枚の膨らみのある花弁のように見えるのは萼が発達したもので花弁はありません。雌花には粘性のある柱頭が3〜6個あり根元は離生しています。花粉を粘性の柱頭で受け止めています。

名前は、果実が熟すと一方に縦裂して白い肉をあらわすからです。



歌には、感動と勇気を与えるものがある。歌番組でよく聞くフレーズである。▼通勤で毎日100km近く運転することとなった。幸いにも交通渋滞はほとんど無くストレスなく運転も出来、当然、交通違反・事故等もなく安全運転を心掛けています。▼そんな通勤のある日、ラジオから懐かしい音楽が聞こえてきた。宮崎出身の歌手大城光恵さんの「中年よ大志を抱け」という曲である。CMソングにもなったので耳に残っていた。

彼女が今年病気によりで亡くなられた。自身も同じ年齢でもあり、あらためて健康でいることが大切に感じた。彼女はもういませんが歌は永遠に残ります。「♪中年よ大志を抱け、若者になんか負けるな、あの夢はどこまで続くのか、自分で限界を決めないで♪」という歌詞である。今の時代は、中年と言わずに中高年と言っている。ほかにも「青年、女性よ大志を抱け」もあるようです。聞いてみては!!

▼侍Japanが見事に世界一を奪還した。大谷翔平選手も子供の頃からの夢、二刀流が駄目だと思ったことは一度も無い。スポーツにも感動と勇気を与えるものがある。

【桜】